

(1) 幼児の姿と教師の願い

幼児の姿

人とのかかわり・言葉

省略

組活動

省略

教師の願い

○気の合う友達以外の友達とも交流し、かかわりが広がり深まっていくようにしたい。その中で言葉でやり取りができたり、自分で遊びが楽しめたりすることができるようにしてほしい。

○トラブルの時は、仲立ちで自分の思いや友達の思いを言葉で話したり、聞いたりしながら解決できるようになってほしい。

○集団の活動や遊びをすることの楽しさが分かり、みんなで楽しめるようにしたいと思い「おおかみさん」を取り上げた。その中で、おおかみと人になり、みんなで歌いながら鬼ごっこをして、やり取りや遊びの楽しさを味わわせたい。

(2) ねらいと内容

- 教師や友達と一緒に鬼遊びをすることに意欲をもって楽しむ。
- ルールのある遊びをすることを楽しむ。
 - ・戸外でみんなと一緒に体を動かして遊ぶことを喜び楽しむ。
 - ・簡単なルールを知り、守って楽しんで遊ぼうとする。

○本日の展開

時間	幼児の活動	環境構成(★)及び教師の援助(○)	評価の観点
13:35	<p>○鬼あそびをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トラックを走る ・鬼あそびについての話を聞く。 ・「おおかみさん」をする。 ・鬼の交代をする。 <p>○手洗い、うがい、用便をする。</p> <p>○今日の遊びについて話をする。</p> <p>○当番の交代をする。</p> <p>○降園準備をする。</p>	<p>★園庭に逃げたり追かけたりできる活動しやすい場を確保する。</p> <p>○鬼ごっこをする場がわかりやすいように活動する周りを全員で走って気持ちを高めるようにする。</p> <p>○鬼ごっこについて、約束やルールを決めて、楽しくできるように話を進めていくようにする。</p> <p>★おおかみのお面・椅子・机・カセットを用意して鬼遊びができるよう準備しておく。</p> <p>○全体を見ながら教師も加わり、みんなで歌いながら、鬼遊びの楽しさを共有していく。</p> <p>○教師も鬼になり声の強弱をつけて追かけ、鬼ごっこの楽しさをみんなで味わい、心に残るようにする。</p> <p>○トラブルが起きたときは、互いの思いを聞き仲立ちしたり代弁したりしていく。</p> <p>○手洗い、うがいをすることが忘れずにできるように声を掛ける。</p> <p>○今日の遊びについて、話が伝わりやすいように援助する。</p> <p>○交代のあいさつをはっきり言えるように、教師も一緒に言うようにする。</p> <p>○忘れ物をしないように準備ができるよう、声を掛けたり励ましたりする。</p>	<p>○話に興味をもって聞こうとするような態度が見られたか。</p> <p>○喜んで活動しようとしているか。</p> <p>○鬼遊びの約束やルールが分かり、喜んでやっているか。</p> <p>○楽しく盛り上がって鬼ごっこができて、言葉が出ていたか。</p> <p>○トラブルの原因は何か、互いの思いや、気持ちが聞けていたか。</p> <p>○寒くても手洗い、うがいできていたか。</p> <p>○友達が話している時は、静かに聞くようにしていたか。</p> <p>○声に出して、あいさつができたか。</p> <p>○忘れ物がないように準備ができていたか。</p>
14:30	<p>○降園する。</p>	<p>○一人ひとりスキンシップをとりながら、保護者に今日の様子を伝え、笑顔であいさつを交わしていくようにする。</p>	<p>○一人ひとりの幼児に笑顔で対応できていたか。</p>